

牧野先生が採集された標本があるから、四国をその分布区域に加える。なお、この標本には“Max. 329”なる控え番号があるが、これは Maximowicz に送った控え標本である。

Cephalanthera erecta Blume var. *subaphylla* (Miyabe & Kudo) Ohwi, Fl. Jap. 361 (1953) comb. subnud.; in *Bull. Nation. Sci. Mus.* no. 33: 69 (1953). Nom. Jap. Yūshun-ran.

Hab. Shikoku: Mt. Yokogura, Prov. Tosa (T. Makino—May, 1889). New for Shikoku. (東京都立大学理学部牧野標本館)

牧野標本館雑記 1—4 を総括して下記の取扱いとする。

牧野標本館業績, 第 5. Contribution no. 5 from Makino Herbarium, Tokyo Metropolitan University.

□ Siro KITAMURA: **Flora of Afganistan**, pub. by Committee of the Kyoto University Scientific Expedition to the Karakoram and Hindukush, Kyoto University (1960). 1 colored frontispiece, 486 pp. including index and 105 full page figs.

本書は京都大学北村四郎教授の著作で、同大学カラコルム及ヒンズクシ學術探検委員会発行にかかる B5 版 486 頁からなる大著で純学術的の労作である。口絵には Nuristan 地方 (2500 m) の草原と, Shibar 峠 (2700 m) 附近の景観とを示してある。また本文中には一頁大の植物写生図 105 枚が這入っていて、まことに記念すべき出版 (1960) である。非売品 (久内清孝)

□ Iwao HINO: **Icomae Fungorum Bambusicolorum Japonicorum** 335 pp. 1 pl. 173+21 figs. (1961).

日野巖博士 (山口大学) は数十年来斑竹菌をはじめとして竹類につく菌類と取組み、戦後は同教室の勝本謙氏の助力を得て新種、既知種を問わずすべて精細な図と記載を添えて、数回に亘り同大学紀要に発表して来た。今回これを基礎とし、総論的記事と斑竹に関する記事を添え、集大成したのが本書である。取扱われた 173 種の大部分が著者及勝本氏の新種であることを見ても、無人の境を行くの観がある。本書で発表の新種も若干ある。記載はすべてラテン。斑竹に関する 21 図及委しい記事は菌類関係以外の人々にも興味を持てよう。(小林義雄)